**生け花（プログラムテキスト）**

日本のフラワーアレンジメントの芸術は、またはと呼ばれています。その歴史は1,500年以上前、仏壇に花を供える風習にまでさかのぼることができます。何世紀にもわたって、花を生けることは主に僧侶や貴族によって実践され、徐々に芸術の形式に発展してきました。の理論と哲学は16世紀に、僧侶であった(1482年～1543年)の教えに基づいて成文化されました。時代を経て、の芸術はすべての社会階級の人々に人気となりました。加えて、特定の生け花の形式は、と強く結びつくようになりました。

西洋のフラワーアレンジメントとは対照的に、は季節性や非対称性、何も無い空間の美しさを強調します。風景全体を再現する正式なスタイルから、素朴な茶室で一花を花瓶に挿すシンプルなスタイルまで、あらゆる場面で様々なスタイルの花のアレンジを適応できます。京都で数あるの流派の中でも、日本伝統文化入門公演～ギオンコーナー～ではとが彼らの芸術を披露します。